

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズ東餅田		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 10日	～	R7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年 11月 10日	～	R7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R7年 12月 1日	～	R7年 12月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援スタッフは、専門職(ST)が実施している。	・専門的視点で子どもの行動をアセスメントしている。	・先生方とコミュニケーションを取ることで、学校やお子さまへの理解を深め、より実現可能な支援の提案等を行えるよう取り組んでいく。
2	・学校、保護者、お子さまそれぞれのニーズを理解するために、学校や保護者、スタッフ間でのコミュニケーションを密に行い、解決に努めている。	・お話しできる時間を、学校や保護者のご都合を伺いながら調整している。	・より意見しやすい関係作りや、コミュニケーションツールを検討していく。
3	・連絡ルーツの一つとしてLINEなどを活用している。	・学校やお子さまの困り感に迅速に対応することに繋げている。	・各学校によって利用しやすい連絡ツールは異なるため、学校のご意向を確認しながら、対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問スタッフの不足。	・訪問支援を行える人材が少ない。	・人材育成と人材の確保。 ・現在訪問支援を行っている職員と同行してもらい、経験を積むことができるように時間を確保していく。
2	・全ての依頼を受け入れることができていない。	・訪問スタッフの不足。	・人材育成と人材の確保。 ・現在訪問支援を行っている職員と同行してもらい、経験を積むことができるように時間を確保していく。
3	・学校との連携方法をよりよくしたい。	・日程調整や、訪問後のフィードバック、学校や保護者、お子さまご本人の困り感を共有し、目標を統一するための時間の確保が難しい。	・学校の先生方のご都合に配慮する。 ・日程調整など連絡方法に関しては、始良市のグループ会議でも検討を進めている最中である。そのため、学校・事業所である程度統一した方法を作り、連携しやすい形作りのために意見を伝えていきたい。